

令和6年度第1回北海道新幹線新八雲(仮称)駅周辺整備推進会議 議事録

令和6年5月14日(火) 13時30分～14時45分 (所要75分)

【出席委員】

(敬称略、順不同)

所属・役職	氏名
北海道新幹線新八雲(仮称)駅周辺整備推進会議会長	秋松 等
春日二区町内会	小川 藤 芳
八雲商工会 女性部 副部長	大久保 和 恵
八雲観光物産協会 事業部会 副部会長	小西 雄 一
公募委員	稗田 一 俊
公募委員	佐藤 馨
公募委員	長谷部 修

【オブザーバー】

所属・役職	氏名
北海道開発局函館開発建設部 道路計画課長 (代理 北海道開発局函館開発建設部 道路計画課 上席道路調査官)	新井田 勇 二 (藤井 大道)
北海道渡島総合振興局函館建設管理部事業室地域調整課 主幹	清水 英 夫
北海道渡島総合振興局地域創生部新幹線推進室 室長 (代理 渡島総合振興局地域創生部地域政策課 主査)	大原 晋 (津田 陽 一)
北海道警察函館方面八雲警察署 交通課長	林 芳由紀
独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北海道新幹線建設局 設備部 建築第二課長	阿部 祐 介
北海道旅客鉄道株式会社 総合企画本部新幹線計画部 主幹	広田 隆 司

【八雲町】

所属・役職	氏名
八雲町副町長	成田 耕 治
政策推進課 新幹線公共交通参事	戸田 淳
政策推進課 課長	川口 拓 也
政策推進課 課長補佐	宮下 洋 平
政策推進課 新幹線・公共交通係 係長	岡島 孝 明



議事録（要旨）

<p>開会</p>	<p>（新幹線公共交通参事）</p> <p>本日は大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>私は4月より政策推進課新幹線公共交通参事として参りました、戸田と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。</p> <p>また、本日出席予定の委員のうち、八雲町漁協の小川委員、落部漁協の鎌田委員、八雲建設協会の中村委員より、急遽欠席の連絡がありましたので、ご報告させていただきます。</p> <p>それでは早速でございますが、ただいまから、令和6年度第1回目の北海道新幹線新八雲（仮称）駅周辺整備推進会議を開催させていただきます。</p> <p>はじめに、副町長よりご挨拶を申し上げます。</p>
<p>副町長挨拶</p>	<p>（副町長）</p> <p>皆さん大変ご苦労様です。副町長の成田でございます。</p> <p>本日、岩村町長につきましては上京してございますので、代わって私の方から一言ご挨拶をさせていただきたいと存じます。</p> <p>本日は、時節柄大変お忙しい中、推進会議にご出席を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。</p> <p>委員の皆さんは既に新聞などでご存知のことと思いますが、先週8日、鉄道・運輸機構が国土交通大臣に、複数の工区で地質不良などが生じており、現時点でも3年から4年程度遅延している状況にございまして、現状では打開策がなく、2030年度末の開業については極めて困難との判断に至り、断念したことを報告したところでございます。国土交通省は10日に有識者会議を開催しまして、新たな開業目標や、工事の挽回策などについて検討を始めたところでございます。岩村町長からは、開業の延期は非常に残念であり、1日も早く開業時期を示してほしいと申してございました。</p> <p>現在、駅周辺整備計画を策定しており、開業が遅れることになっても、駅周辺整備計画を本年度で形にする必要がございますので、計画のスケジュールが立たないなど、懸念されているところでございます。</p> <p>具体的には、参画を予定しております不二家さんの動向、また駅前駐車場、道道、橋梁、水道などのインフラ整備、さらには新庁舎や資料館等の移転などにも大きな影響が出るものと思っております。すでに昨年より明かり工事も進められておりました、駅舎建設にどのような影響が生じるのか、現状では不明でございます。</p> <p>本日岩村町長については、国土交通省へ、鈴木知事や秋元市長などとともに、1日も早く今後の見通しを明らかにしていただくよう、緊急要請に行っているところでございます。</p> <p>本日の推進会議では、延期に至った工事の状況や、また6月14日に（手交式を）予定しています駅舎デザイン推薦案などについてご説明をさせていただきますので、委員の皆さま方の忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願い申し上げます。</p> <p>結びとなりますが、委員の皆様には今後とも、八雲町のまちづくりに対しまして、ご支援とご協力を賜りますことをお願い申し上げます。開会の挨拶にさせていただきます。</p>

	<p>きます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>(新幹線公共交通参事)</p> <p>続きまして、本推進会議の会長であります、秋松会長よりご挨拶を申し上げます。</p>
会長挨拶	<p>(会長)</p> <p>皆様、今日はお忙しい中ご苦勞様でございます。</p> <p>副町長からの挨拶にありましたように、新幹線の札幌までの開業が延期されます。新八雲（仮称）駅周辺整備やその取組について、いつ頃までの目標になるのかという不安が率直のところございますが、現時点でのより良い方策を、皆様のご意見をいただきながら作っていければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>またお忙しい中、関係機関の皆様、ご出席いただきありがとうございます。会議の途中でも終わった後にも、色々ご指導ご助言をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします申し上げまして、簡単ですが挨拶といたします。</p>
議題（１） 前回会議のレビュー	<p>(会長)</p> <p>では、議題（１）前回会議のレビューについて、事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>八雲町の岡島です。よろしくお願いいたします。</p> <p>スクリーンにも映していますが、事前に配布させていただいた資料を見ていただきながら、この会議を進めさせていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>まずは前回会議のレビューということで、こちら簡単な振り返りになりますが、ご報告いたします。前回の推進会議は、令和6年2月7日に開催しておりまして、報告、議題等については1ページ記載のとおりとなっております、ワークショップの開催結果について、駐車場案についてなどを説明させていただいたところであります。</p> <p>前回の推進会議等の主な意見といたしまして、例えば駐車場案に関しましては、当初は102台というところ、周辺事例を参考にして、一般駐車場の台数は216台に変更したというところが、前回の大きな変化点とっております。</p> <p>駐車場案の形について、高架から見下ろした際に、極力アスファルト面が見えない案（横長）も良いのではないかという意見がありました。実際に絵を描いてお見せしたところ、各委員から特に反対意見等はなかったと認識しております。</p> <p>また、バス待機場を工夫することで、アスファルト面を小さく見せることができるのではないかといたいろいろな意見がございまして、最終的には、推進会議として意見を踏まえて形は事務局に一任するという結論に至った次第でございます。</p> <p>観光案内施設につきましては、前回事例等いろいろ紹介させていただいたところですが、駅舎内に観光案内施設を設置する場合は、JR北海道様、機構様との三者協議が必要だというアドバイスをいただきました。各事例を紹介した中で、委員からは、黒板に地図を描いたような広域観光案内マップが良い、という意見をいただいております。また、最低限自販機は必要、観光パンフレットは紙媒体やQRコードを併せて設置する必要があるという意見や、コスト面を意識した発言だと思っておりますけれども、電子案内板までは不要ではないかという意見がございました。</p>

	<p>④として、道内の農業関連施設等の類似事例を整理して紹介したところでございます。いろいろと参考事例になるというところで紹介はさせていただきましたが、推進会議の委員からは、余計な人工物はいらぬといった意見や、駅前ではなく図面上左側（東側）になりますが、音名川が鮭の遡上する川となれば観光資源になるのではないかとといった意見がございました。これも前々からいただいていた意見でございます。</p> <p>駅舎のコンセプトで議論を進めているという前提で、要は牧場の中にある駅というコンセプトで、新駅の周りにいろいろ作る必要はない、街中へ誘導する形をしっかりと考えた方がよいのではないかと、といった意見がございました。</p> <p>また最後に、デザインのアンケート結果についてご報告いたしました。こちらも多数決をして9票差ではございましたが、八雲町としてはB案を推薦することをこの推進会議で決定しておりましたが、委員からはその駅舎に対して、木材をいっぱい使ってほしいなどといった意見がございました。鉄道・運輸機構様に推薦書という形でお渡しいたしますが、そこに附帯意見という形で委員の声を反映できないかというところで、4月上旬に別途意見聴取を実施してございます。</p> <p>C案に対しても、たくさん票が入っているということで、そのデザインを駅周辺等に取り入れられるのではないかとのご意見もございました。</p> <p>前回の推進会議の簡単な振り返りになります。報告は以上です。</p>
<p>議題（1）に対する意見等</p>	<p>（会長）</p> <p>どうもありがとうございます。ただいまの説明は、前回の推進会議において、いろいろとご意見が出された内容の確認ということで、事務局から説明がありましたが、これに何かご意見、ご質問はありますでしょうか。</p> <p>ただいま説明した内容で確認をしたということで、次の議題に入りますが、よろしいですか。</p> <p>（一同）</p> <p>はい。</p>
<p>議題（2） 駅舎デザイン推薦書（案）について</p>	<p>（会長）</p> <p>次に、議題（2）駅舎デザイン推薦書（案）について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>（事務局）</p> <p>次に資料2になりまして、デザイン案の推薦書案を資料としております。</p> <p>先ほど申し上げたとおり、4月上旬に委員皆様に素案という形でお出しして、意見を聴取していたところでございました。結果的には、この素案の状態（内容）で良いのではないかと、意見はなしというところで、取りまとめが終わっておりましたので、4月上旬にお配りした素案の内容となっております。</p> <p>2ページ目ですけれども、文字のところの一部、「2030年度札幌延伸開業に向け」という文言がございますので、「2030年度」というところは削除しまして、鉄道・運輸機構様の方に推薦書を手交したいと考えてございます。</p> <p>中身につきましては、最後のページに附帯意見というところで、5点ほど付けてい</p>

	<p>ます。繰り返しになるかもしれませんが、ご報告いたします。</p> <p>附帯意見としましては、まずは、バリアフリーに配慮し動線が無駄にならないようご配慮いただきたいとしています。</p> <p>2点目が、過ごしやすく常に快適な駅舎で、子どもたちやおからだが不自由な高齢者に優しい施設となるよう、ご配慮をお願いしますというところです。</p> <p>3点目につきましては、外観については、デザインコンセプトである「牧場の中にある駅」を、しっかり尊重してほしいという旨を書いています。</p> <p>また、夏だけ、春だけというわけではなく、各季節でも周囲の牧歌的風景に溶け込むような素材や色調についてご配慮いただきたいというものにしております。</p> <p>また4点目につきましては、委員の一部から意見がございましたように、駅舎内装には地元産木材をふんだんに使用していただいて、温もりを感じられるような駅舎にしてほしいということで記載しております。</p> <p>最後ですけれども、駅舎内から広い視野で見渡せるよう、出来るだけガラス張りとするようお願いいたしますという文言で、附帯意見合計5点を記載させていただいております。</p> <p>以上、推薦書（案）についてのご説明を終わります。</p>
<p>議題（2）に対する意見等</p>	<p>（会長）</p> <p>事務局の説明にもありましたように、この案につきましては、4月3日付で各委員に素案として内容が示されております。それに対して意見を求めたところ、各委員からは、このままでよろしいという意見が来ておりますので、素案の内容と変わっておりません。</p> <p>したがいまして特にご意見がなければ、この案につきましては、本推進会議において了承したものとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>（一同）</p> <p>はい。</p> <p>（会長）</p> <p>では、事務局の案のとおり決定といたします。</p>
<p>議題（3） 屋外駐車場について</p>	<p>（会長）</p> <p>次に、議題（3）屋外駐車場について、事務局から説明願います。</p> <p>（事務局：ドーコン）</p> <p>資料3につきまして、ドーコンから説明いたします。</p> <p>駐車場案についてということで、1ページ目、駐車場台数を少し増やした場合のパターンを2つ載せています。案②、案③ということで、お示しいたしました。前から、駐車場に屋根をかけてはどうかという議論があったと思います。冬の使い勝手、あるいは雨が降ったときの利便性・快適性、こういったことを踏まえて、案②と案③で屋根をかけると事業費はどれくらいになるのかについて検討をいたしました。</p> <p>2ページ目、検討の条件といたしまして、屋根をかけるエリアと、かけていないエリアは差別化した方が良くはないかということで、屋根をかけているエリアを仮に有料化した場合について検討をいたしました。有料化するということはゲート等を</p>

設置する必要があるということで、その設置場所も含めて、駐車場の配置パターンの検討をいたしました。

3 ページ目が、駐車場の配置検討案となります。屋根をどれくらいかけるかというところで、図面で赤のハッチがかかっている部分に屋根をつけて、なおかつそこは有料エリアゾーンにしてはどうかということで、事業費を検討してございます。パターンとしては、案②と案③に対しまして、台数の概ね半分くらいまで屋根をかけるパターン、また4分の1程度屋根をかけるパターン、この4パターンで事業費について検討いたします。

4 ページ目が、駐車場ゲートの機器イメージです。設置費用は 8000 万円程度ということで、事業費を弾いています。

最後に5 ページ、数字が非常に細かくて読み辛いかと思うのですが、事業費を弾きました。イメージとしては3 ページを見ながら、私が読み上げる金額を検討いただければと思います。

案②の方は、屋根関係なしの駐車場の整備費用で、2億 5000 万円程度使います。それに屋根をかけるといくら上乗せされるかということで、駐車場エリアが半分程度だと、3億 2000 万円程度となります。それに対して、4分の1程度の屋根になりますと1億 8000 万円程度の屋根代ということになります。ざっくり四捨五入いたしまして、一番左上の方が6億 9000 万円程度、そして右側の方が5億 3000 万円程度の事業費となります。

次に、本線並行配置案の場合でございます。これにつきましては、駐車場の整備費用が2億 8000 万円程度です。案②に比べて3000 万円程度費用がかかります。半分程度屋根をつけると、5億 5000 万円、4分の1程度で3億円。駐車場整備費と合わせまして、案③の半分屋根化の場合は9億 1000 万円、それに対して案③の4分の1の屋根をつけた場合は6億 5000 万円といったような、ざっとした概算費用の差を整理いたしました。

(事務局)

委員の皆様へ、6 ページ目「6. 八雲町駐車場整備方針 (案)」というところで、本日配布させていただいております。

八雲町といたしましては、こちらの長方形の形状のもの、かつ屋根を4分の1程度掛ける整備方針にしたいと考えております。理由としましては、まず委員のご発言からありましたとおり、ホームから極力アスファルト面が見えないようにしたいということで、長方形の形にしたいと考えております。

整備費用に関しましては、町長から極力削減するよという指示がございました。整備方針としましては、屋根の面積が4分の1程度のもの、かつ駐車場の歩道の必要性については今後検討するよという指示がございました。この資料には間に合いませんでしたが、この必要性については検討しなければならないと考えております。

図のようにアスファルト面を長方形に描いておりますが、アスファルト舗装については、開業当初はこの概ね半分程度を舗装しようと考えております。そうすることで駐車場の状況等を鑑みながら、拡張できる余地を残すよというよと考えております。

	<p>以前より、屋根のあるところは有料化でも良いのではないかというお話がございましたが、駐車ゲートを開業当初は設置せずに、全台無料とする方針としたいと考えております。8000万円という整備費用が提示されておりましたが、維持管理費については特にまだ出しておりません。その維持管理費も、QRコード対応や現金対応など、様々な条件で変わってきます。今回お示しはしておりませんが、そういった費用がかかってくるというところを考えまして、まずは開業時の駐車状況を見極めて、有料化については開業後に検討したいと考えております。</p> <p>以上、説明を終わります。</p>
<p>議題(3)に対する意見等</p>	<p>(会長)</p> <p>駐車場については、前回の推進会議での委員の意見等を踏まえ、事務局として、別紙の案で進めたいという考えでございます。</p> <p>今、私が事務局に尋ねたのは、例えばアスファルト舗装を開業当初は半分くらいにする、あるいは歩道の必要性を検討した時に、当初の金額よりどの程度圧縮があるのかを教えてくださいということでしたが、まだ計算されていないということです。</p> <p>ただいま説明した内容で、皆さんからの意見をお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。横長という部分については、前回の会議の意見が反映されていると思っています。</p> <p>(委員)</p> <p>駐車場から歩道を経由して駅に入りますが、高架橋の下を広場のように整備して、歩道にすることはできないのですか。要するに、駅に入る導入路として利用できるのではないかと思います。駐車場にするには費用がかかるというお話でしたが、お客さんの出入りする空間として利用する、そのような方法であれば外側を歩道にせず、高架橋の下を歩道として利用できるのではないかと思います。</p> <p>(事務局)</p> <p>高架の下を、人が歩けるようにしたいというお話だったと思います。こちらについて、開業後はJR北海道さんの管理になります。</p> <p>(北海道旅客鉄道株式会社総合企画本部新幹線計画部主幹)</p> <p>そうですね。我が社が施設を管理します。</p> <p>(事務局)</p> <p>そうすると、例えば歩けるような形にしたい場合は、町がJR北海道さんからお借りするようなイメージになるということです。</p> <p>高架下には柵が設けられるのですか。</p> <p>(北海道旅客鉄道株式会社総合企画本部新幹線計画部主幹)</p> <p>高架下を入れないようにするところもありますが、使うのであれば入るようにします。協議次第であり、できなくはありません。高架下に、当社の維持管理部門の事務所を配置する計画を検討してしまして、その使い方次第でそこを使うかもしれないという状況です。使い道がなければ、お貸しすることは可能になるかもしれませんが、まだ決まっている段階ではありません。</p> <p>(委員)</p>

そうであれば、お客さんが通れるような通路的なものを設計方で入れていただければと思います。

(会長)

技術的な問題と、費用の問題が発生するわけですね。その辺をお話ししていただければと思います。

(鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局設備部建築第二課長)

鉄道・運輸機構の阿部と申します。

最初に、開業について皆様のご心配をかけて、どうも本当に申し訳ございません。先ほど副町長さんからありましたとおり、第三者委員会で今、新たな開業目標について議論いただいているというところになっております。

私は建築二課の課長をしておりますが、駅の建築、設計をやっているところです。駅の設計は今年度、予定通り実施するというところなので、推進会議の皆様にも今年度、一緒に議論をいただきたいと思っております。

先ほどのご質問の方ですけど、まずプラットフォームから右側のところは、駅を出ると高架橋の幅が狭くなっています。なので、屋根がかかっている面積が非常に狭くなっているというところと、J R北海道さんの建物が来るので、それとも取り合いはかかってきます。細長くして取ることもできますけども、技術的には高架橋の幅が狭いというところと、機構からJ R北海道さんに土地をお貸しするので、J R北海道と町の方で賃貸借の協議も発生するというところになっております。以上です。

(委員)

できればそのよう（高架下を歩道）にした方が、出入りするお客さんのためには良いと思います。

(事務局)

可能であるという可能性があるというところですので、機構さんとJ R北海道さんと協議させていただければと思いますので、よろしくお願いします。

(会長)

今の委員のご意見については、事務局として関係機関と協議をして、それが可能なのか、あるいは町としても費用負担と関係があるのでしょうか、可能なのかどうかは検討するというところでよろしいですか。

(委員)

はい。

(委員)

今の件ですけれども、線路の下を一般人が通るということで、保安上の問題、安全管理上の安全確保等の問題、それからいろんな犯罪等の関係も発生すると思います。その辺の危惧はどうなのでしょう。

(北海道旅客鉄道株式会社総合企画本部新幹線計画部主幹)

高架下は基本的に何も使わなければ、当然立ち入り禁止の柵を設け、入れないようにするのですけれども、駅前後の高架下は一般的にどこの駅でも活用しているところが多いので、そこは線路に直接入れるところではないので、下を使うことには構わな

い、ということになっています。なので、あくまで協議により使うことは可能ですが、鉄道施設の配置が優先になるので、それに当たらないならば、できなくはないというところですよ。

プラットホームの絵にあります（6ページ）、プラットホームと書いているところから、右側に細いところがあると思います。そこからは屋根がなく高架橋にも穴が開いているので、そこは通れないです。一番広がっている、プラットホーム左側のところが駅の部分になります。そこに営業機関を置くなどが考えられます。

(会長)

これは後程説明するのですが、新八雲（仮称）駅イメージ図をご覧ください。高架橋の下のところは、このような感じですね。

(北海道旅客鉄道株式会社総合企画本部新幹線計画部主幹)

上屋があるのがその範囲ですね。そこから外れた、屋根の無いところは基本的に高架橋の雪を置くことになるので、下を歩くことができません。一番右側の屋根が無いところは基本的に無理です。上から雪をそのまま下に落とすので、冬は一切使えなくなっちゃいます。あとは、メンテナンス上の管理用道路も作らなければなりません。

(会長)

可能かどうかを含めて検討していただくということで、この関係につきましては、そういうことでよろしいですね。委員もよろしいですか。

(委員)

はい。

(会長)

そのほかご意見はございますか。

(委員)

歩道の必要性ということは、付けられない可能性もあるということですね。

(事務局)

そうですね。

(委員)

ということは、車が通るところを通過して、駐車場から駅に入るということになる。

(事務局)

というのもあり得るのかというところで、このような文言で記載しています。なかなか厳しいですかね。

例えば、七飯町の道の駅を想像していただきたいのですが、駐車場に車を停めた人が、歩道を歩くような仕組みになっていません。というところを考えると、歩道がないということも可能性として考えられるところですよ。

あくまでも極力コスト削減というところがあった中で、その必要性を検討しています。もちろん必要という意見はあると思いますが、今後検討したいというところで、まだ歩道を付けられないというわけではありません。費用と安全面が一番大事だと思うので、そこは今後検討したいと思っております。

ただ、委員としては歩道が必要だということですよ。

	<p>(委員)</p> <p>そうだね。安全面から見たら歩道は絶対必要。やはり大人だけでなく、小さい子どもも歩くと思うのだけだね。できれば歩道は付けていただきたい。</p> <p>(会長)</p> <p>歩道の関係について、他の委員からどうでしょうか。やはり委員の意見がもっともですよ。</p> <p>そうしましたら、他にご意見がないようでございますので、第一としまして、最後にお渡ししている資料、これが事務局から示されました駐車場の整備方針（案）でございます。一応、この案で進めるということについてよろしいでしょうか。</p> <p>(一同)</p> <p>よろしいです。</p> <p>(会長)</p> <p>ただいま、2つのご意見がありました。</p> <p>歩道については、高架橋を利用した形であったらどうかというご意見。</p> <p>もう1つが、仮にそれが無理だという前提で、委員から、やはり子どものことを考えた時に歩道をつけるべきではないかというご意見が出されております。</p> <p>したがしまして、基本的には事務局案で了承するとしても、ただいま2名の方から出されている意見については、事務局の方で十分検討の上、取り進めるという要望事項をつけて、了承するというところでよろしいでしょうか。</p> <p>(一同)</p> <p>よろしいです。</p> <p>(会長)</p> <p>では、そのようにいたします。</p>
<p>議題（４） 観光案内施設について</p>	<p>(会長)</p> <p>次に、議題（４）観光案内施設について事務局から説明願います。</p> <p>(事務局：ドーコン)</p> <p>続きまして、資料４について説明させていただきます。</p> <p>観光案内施設につきましては、前回の推進会議のご意見を踏まえまして、導入機能案とその配置イメージについて検討させていただきました。</p> <p>資料１ページ目をご覧ください。こちらは前回の第２回推進会議のご意見、そして昨年度実施させていただきました高校生ワークショップの意見を踏まえまして、検討した導入機能（案）を示してございます。</p> <p>まず文章の上段をご覧ください。前回の推進会議でのご意見につきまして、まず観光情報発信機能につきましては、先ほど岡島様からもご報告がありましたけれども、黒板に地図を描いたような広域観光マップが牧歌的なイメージにつながって良いのではないかと。パンフレットについては、紙媒体やQRコードを併せて設置する必要がある。また、電子案内板について事例はあったけれども、お金がかかるため不要ではないかと。そして観光案内につきましては、八雲町だけでなく、熊石地域など周辺の地域がわかるような地図とパンフレットを設置するとともに、八雲町の物産などについて</p>

も触れられた方が良いのではないかといったご意見をいただいております。

物販機能につきましては、自動販売機を設置してはどうか、新幹線の車内販売がなくなったので、必要最低限のものを購入できる内容にしてはどうかというご意見をいただいております。こちらの自動販売機の利用者につきましては、観光客の利用というのではなく、町民利用を想定して設置してはどうかというご意見をいただきました。ほかにも木彫り熊や手作り行燈キットを作っている方が町内にいらっしゃるというご意見をいただきましたので、これらも自動販売機などで販売できると良いのではないかとご意見を頂戴してございます。

高校生ワークショップでの意見についてもご報告させていただきますと、観光情報発信機能については、前回推進会議でのご意見にもありましており、やはり八雲町のまちなか周遊を促せるような観光マップは必要だろうというご意見がありました。また、スタンプラリーの実施もあった方が良いのではないかとご意見もございました。

物販機能につきましては、新駅のデザインコンセプトに合うように水産品ではなく、乳酸品やお肉などを買えるような物販機能があると良いのではないかと、八雲町の美味しい食べ物を購入できる自動販売機を設置できると良いのではないかなどのご意見が挙がっております。

その他の意見といたしまして、木彫り熊の博物館や、木彫り熊を制作できるような体験コーナーなども駅舎にあっては良いのではないかと、電動キックボードを置いてはどうかというようなご意見も出ておりました。

これらを踏まえまして、検討した導入機能案を示させていただきました。1ページの下側をご覧ください。まず観光情報発信機能につきましては、観光広域マップの設置と観光パンフレットを設置してはどうかと考えてございます。観光パンフレットはQRコードも併せて設置するようなイメージを考えてございます。また、電動キックボードやタクシーなどの交通案内の看板も設置してはどうかと考えております。

物販機能につきましては、駅舎利用者が買えるような必要最低限の飲み物やお菓子、パンなどを購入できる自動販売機を設置してはどうかと思っております。また、八雲町および近隣自治体の物産品を購入できる物販機能についても検討してはどうかという風にまとめております。

最後にギャラリー機能といたしまして、木彫り熊の展示コーナーといった八雲町ならではの展示コーナーや、手作り行燈キットを購入できる方法についても検討してはどうかという風にまとめさせていただきました。

続きまして 2ページ目をご覧ください。先ほどご提示させていただきました3つの機能、観光情報発信機能、物販機能、ギャラリー機能につきまして、それぞれ駅舎のどこに配置するかというイメージを掲載させていただきました。文章の上の方に、緑字で書かせていただいた部分を駅舎内に設置してはどうかと考えてございます。

例えば駅舎内と致しましては、観光情報発信の広域観光マップ、観光パンフレットについては、柵内コンフォースの壁側に、飲み物やお菓子、パンなどを購入できる自動販売機を、観光マップ&パンフレットの隣に配置させていただきました。

	<p>木彫り熊の展示コーナーにつきましては、駅舎内の待合室においてはどうかと検討してございます。下の左側の写真が、北陸新幹線金沢駅の待合室の写真となりますが、金沢駅では壁面に、金沢の瀬戸物といった郷土のものを展示するスペースがございます。八雲町の場合にも、このような壁面を利用して木彫り熊を展示できるのではないかと思います、事例として挙げさせていただきました。</p> <p>広域観光マップにつきましては、黒板を活用したイメージということで、前回の委員会でも提示させていただきましたが、右側のような大きく手作り感のあるようなマップのイメージを現在検討しているという状況です。</p> <p>以上で、説明を終了させていただきます。</p>
<p>議題(4)に対する意見等</p>	<p>(会長)</p> <p>前回の推進会議での委員からの意見、高校生ワークショップの意見を踏まえて、事務局から観光案内施設の導入機能(案)として、3つの機能を柱とした施設の設置案が提案されております。この事務局案の内容について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。</p> <p>その前に、観光マップ、自動販売機、待合室への展示について、町の方からイメージとして出されておりますが、こういった配置については、特に問題ないということで理解してよろしいでしょうか。</p> <p>(鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局設備部建築第二課長)</p> <p>こちら、町さんと協議は多分されていないと思います。機構側からすると、電源が絡む話は運営主体との絡みもありますので、運営側であるJR北海道と協議がなされてから報告した方が良いと思っています。</p> <p>先ほど、ドーコンさんから北陸新幹線金沢駅の写真を紹介いただきましたが、こちらはJR西日本と、金沢市の方で維持管理の協定を結んでおります。設置して終わりという話ではなくて、維持管理も絡みますので、その辺を踏まえて町さんも考えていただければと思います。</p> <p>(委員)</p> <p>観光マップについて、最近はQRコードにより携帯をかざすだけで、いろんな情報、映像が出てきます。そのようなものを配置することによって、パンフレットの数を減らすこともできると思います。仮想空間でいろいろなイメージができて、観光地に行けるようになるのではないかと思います。</p> <p>もうひとつ、待合室について、できるだけ周りが見えるようにガラス張りが良いと思います。</p> <p>(事務局)</p> <p>先ほど鉄道・運輸機構さんから、協議してからの方が良いというお話がございました。こちらはあくまで配置イメージの検討ということで、このような感じで配置することができれば、ということろです。この推進会議でご意見をいただき、今後具体的な協議を実施する予定です。</p> <p>QRコードを活用した観光マップに関しては、検討はできると思いますので、ご意見として参考にしたいと思います。</p>

	<p>また待合室について、個人的にも見える方が良いと思っておりますが、駅舎の建築をガラスにするのか、壁面にするのかについては、機構さんの設計が今どうなっているかということもありまして、事務局から機構さんに考えを伺いたいと思います。</p> <p>(鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局設備部建築第二課長)</p> <p>金沢駅の待合室は奥まっているところであるので、このようにイメージされていると思いますが、基本的にはいたずら防止や視認性のために、よく見えるガラス張りになります。基本は、ガラス張りと考えていただいて結構であります。</p> <p>(会長)</p> <p>そのほか、ご意見はございますか。</p> <p>それでは、他にご発言がないようでございますので、事務局から配置イメージ図として、3つの機能を柱にした具体的な施設の設置ということで、項目が羅列されております。基本的にはこの案を主体に進めていくということによろしいでしょうか。</p> <p>(一同)</p> <p>はい。</p> <p>(会長)</p> <p>それでは、そのように決定いたします。</p>
<p>議題(5) 駅周辺整備・ゾーニングイメージについて</p>	<p>(会長)</p> <p>次に、(5) 駅周辺整備・ゾーニングイメージについて、事務局から説明願います。</p> <p>(事務局：ドーコン)</p> <p>続きまして、資料5について説明させていただきます。</p> <p>こちらにつきましては、前回の推進会議でお示しさせていただきました農業関連施設の事例を基に、駅周辺整備に導入できる機能及びゾーニングについて検討させていただいたものとなります。1ページ目、そして2ページ目では、駅周辺整備に関するコンセプト、そして導入機能の検討についてまとめております。</p> <p>まず1ページ目では、現在の駅周辺の現状、そして新駅に関する政策・意見、今後の動向について整理させていただきました。現状につきましては、八雲町、そして新駅の立地環境をまとめさせていただいております。</p> <p>新駅に関する政策・意見に関しましては平成30年の基本計画の中身を整理し、駅舎デザインのコンセプト、また町民のご意見としては、高校生ワークショップの意見、そして推進会議でのこれまでのご意見をまとめております。</p> <p>また今後の動向といたしまして、インバウンドを含めた観光客の動向や見通し、新幹線の広域的な利用の可能性、また新幹線の利用のされ方、そして新幹線開業以降に考えられる時代の潮流を踏まえてどのようなものが考えられるか、これまでにどのような検討されてきたかなどを整理しています。</p> <p>これらの3点の視点を踏まえまして、2ページ目に駅周辺整備に関するコンセプトと方針案を示させていただきました。駅周辺整備に関するコンセプトといたしましては、案ではございますが、マナビのマキバ〜食育をテーマに八雲の大地の恵みを世界へ発信〜とさせていただいております。</p>

方針1が「食」関連分野における八雲町のブランドイメージの向上と波及効果の拡大。方針2が食の生産現場としての八雲の魅力、五感を刺激する体験を通じて発信する方針。方針3が官民連携による安定的で持続的な運営体制の構築とさせていただいております。

この3つの方針を踏まえまして、3ページ目に導入機能案を全部で6点検討させていただきました。

まず飲食機能、物販機能、情報発信機能、こちらにつきましては、駅周辺整備に仮に類似事例を基に検討した場合、この駅周辺整備の核となる施設と考えてございまして、ターゲットといたしましては、観光客の方と地域住民の方に利用されることを想定した機能となっております。

2つ目のエリアといたしましては、ふれあい体験機能、そして工場・生産機能というような生産と学びの施設を考えました。こちらのターゲット層は、観光客を想定してございます。

これら、エリアの核となる施設と、生産と学びの施設の2つの施設との相乗効果をもたらすような小規模なガーデン機能ということで、6つの機能を現在検討しているという状況です。

4ページ目以降が、それぞれの導入機能のイメージを示してございます。4ページ目、飲食機能につきましては、新幹線の利用客や地域住民がゆったりとした時間を消費できる、牧場と一体化したカフェレストランをイメージしております。例えば新八雲（仮称）駅の場合、市街地から離れているという条件がございますので、新幹線駅を利用しない人も日常的に訪れたいと思えるような飲食機能を配置してはどうかと、事例から考えました。

続きまして、5ページ目は物販機能になります。こちらといたしましては、新駅のデザインコンセプトで掲げる牧歌的風景に調和できるような自然の温かみを感じる空間を演出しながら、八雲町のブランドであるチーズやお酒といった商品のブランドイメージを高められるような、上質なデザイン空間を備えた物販機能を配置してはどうかというふうに考えてございます。

続きまして6ページ目をご覧ください。こちらは情報発信機能のイメージになります。地域の旬の「食」情報と地域の「食」に関する専門図書、そして「食」べながら学び・憩える新たな八雲の食を創造するHUBエリアを創出してはどうかと考えてございます。事例をいくつか載せてございますが、情報発信としまして、八雲町内、近郊にどのようなグルメがあるのかについて、情報のマップと八雲町の食に学べる専門書を設置するほか、物販機能や飲食機能で販売したものを食べられるような、休憩機能もあってはどうかと考えてございます。

続いて7ページ目からは、地域の食を体感できる施設として、ふれあい体験機能について整理いたしました。こちらは観光客の利用を想定した施設ですけれども、新幹線駅利用者や外国人観光客が、酪農の生産現場の体験ができるスペース、そして体験機能を設けたらどうかと考えてございます。例えば、乳搾りやえさやり体験、トラクターでの周遊、バター作り体験などが考えられます。

続いて8ページ目をご覧ください。先ほどご説明させていただきましたふれあい体験機能と対になって配置するイメージをしている、工場生産機能についてです。こちらにつきましては、地域産の生乳を活用した小規模な乳処理工場や菓子づくり醸造所など食品加工の生産機能を配置できないかと思い、整理させていただきました。

最後9ページ目はガーデン機能となります。こちらでは新駅を訪れた人にまた訪れたいと思ってもらえるような、牧場の景観と調和したガーデンを整備するという案を整理させていただきました。

地域の活性化に向けて、施設に考えられる機能をフルメニューで提示いたしました。ただ、前回の議論も承知しております。牧場の中の駅というコンセプトを考えるとすれば、駅前にいろんな施設は必要ないのではないか、そのような議論も大事だと思います。基本的には、駅前にどのような機能が必要なのだろうかという議論がまず大事です。そのうえで、ではどのようなものを導入しようかという時に、「あったほうが良い」だけでなく、あったほうが良いのだけれど、それが維持・運営できなかつたら意味がないわけで、ある程度、維持・運営費用も捻出できるようなことも考えなければならぬと思います。

ただ、今はそこまで具体的な議論ではなく、こういったことが考えられるのではないかとといういろんな機能を提示いたしました。駅周辺にこういった機能を置くかどうかというイメージが考えられるのかということで、10ページ以降で、土地利用のゾーニングイメージを検討いたしました。

大きな考え方として、まずは駐車場のパターンが2つあります。そのほか、こういった機能を配置する施設をどこに置くのかということで、やはり新幹線駅のすぐ近くになるべく施設を集約していこうという考え方。もう一つは、駅だけでは集客的に弱いので、道路側に配置する案。施設を置く場所が、駅の近いか道路側かということと、駐車場のパターンを2つに分け、計4パターンになります。

(会長)

基本的に駐車場は横長ということになります。A2案、B2案について説明してください。

(事務局：ドーコン)

分かりました。

A2案は、横長配置の場合で、施設をなるべく駅側に寄せる考え方です。駅前広場の横に隣接して、アクセス道路から南側の方、駐車場と反対側のところに施設を配置していきます。そこに、ふれあい・体験・工場・生産、ガーデン、飲食・物販・情報発信、イベント広場的なものを駅に近接して置きます。当然、施設への利用の駐車場も必要ということになりますので、広場へ行くアクセス道路の途中から、駐車場に入れるような動線も検討する必要があるのではないかと、そして残ったところは、牧場の中の駅ということで、牧場・牧草地ゾーンで牛を放牧するような案を考えております。

民地に隣接する部分につきましては、目隠し的な修景緑化、緑を植えるような帯を考えております。駐車場側のアクセス道路北側については、ハーブ・野菜等生産ゾー

	<p>ンとして、ここは牧草地でも良いと思うのですが、例えば飲食施設で使うような野菜を、ここで生産するというコンセプトがあっても良いのではないかと考えております。配置パターンのA 2案になります。</p> <p>次に、道道側に配置するB 2案です。駅からは離れてしまうのですが、駅の出入り口を中心とした同心円を白線で引いてありますが、200m程度の位置です。足の悪い方や高齢者には遠いかもしれませんが、普通の方であれば十分歩いて到達できる距離に施設を配置するパターンです。その場合、駐車場につきましては、道道側から来られるので良いと考えております。道の駅的なイメージであり、駅に用事がなくても、道道を通りがてら利用できるような配置と考えています。</p> <p>本日お配りしたスケッチはB 2案のパターンで、はっきりと施設規模すら何も決まっていな中で強引ですが、置いたらこれぐらいのイメージということで、概ね500㎡程度の建物を2つ配置した絵であります。やはりこれは絵であり、ここに何が必要かということ、きちんと運営できる施設というものは何だろうかということ、両方から考えていく必要があると思っております。</p> <p>ドーコンからの説明は以上になります。</p>
<p>議題(5)に対する意見等</p>	<p>(会長)</p> <p>事務局から6つに整理された形での、導入機能のイメージの説明がありました。前回推進会議でも、人工物はいらぬのではないかとといった意見もあったわけです。ただ、高校生ワークショップでは、高校生からいろいろな意見もあったと。そういったことを加えて、事務局として今後の新駅を取り巻く動向などを分析して、今回のイメージを提案されたのかなと、私としては捉えております。</p> <p>そういう意味で、改めてイメージ図を見ながら、委員の皆さんの意見交換という形で、この議題を進めさせていただきたいと思っております。いろいろな周りの意見などを踏まえて提案されてきている内容なので、これは要らないのではないかとか、やっぱりこういう形のほうが良いのではないかと、それぞれご意見があるかと思っております。そのようなことで、意見交換をしたいと思っておりますので、忌憚ないご意見を聞かせていただければと思います。よろしく申し上げます。</p> <p>(委員)</p> <p>良いと思っております。いろんな体験もできるし、駅の出口から右側が全部牧場なので、牧歌的風景は取り入れられていると思っております。全部が全部牧場になると、ちょっと極端だと思っておりますけど、半分は体験できる機能や、ハーブ・野菜の生産部分もありますので、揃っていて良いのではないかと思います。</p> <p>(会長)</p> <p>示された機能はどうですか。これは良いのではないかと。いった。</p> <p>(委員)</p> <p>観光客の方も体験できるし、もっともっと深く体験したかったら、町に寄っているいろいろなことを体験できる。そのあたりは、そういう商品だとかサービスというのを、どんどんブラッシュアップして作っていかねばならないと思っておりますけど、とっかかりという部分ではすごく良いものだなと思っております。</p>

ただ、この維持、運営、管理をするという部分で、かなり大変なお金などがかかるのではないかと思いますけど、やはりわざわざこの駅に来てくれる人を、どうやって楽しめるかとか、そういう部分も含めて考えていかないと、特に観光とか物産っていう関連から行くと、かなり死活問題でありますので、ここは本気でやっても良いのかなと思います。

(委員)

駅利用者だけではやはり潤ってこないのかなと思います。近隣の人たちが、ちょっと八雲町にご飯を食べに行こうかとか、ちょっと遊びに行こうかという雰囲気で行けば、道道に寄せて、左側の牧歌的風景を大きく残すという形がすごくいいのかなと思います。

何よりも若い子の意見で、こういう施設が欲しいというのは、やはり汲んであげるべきだと思います。「八雲ってハーベスターしかないよね」と言われるので、このような施設があれば「また八雲に来て」と言えるし、ありがたいなと思います。

(委員)

せっかく来てくれたお客さんを、駅の周辺で足止めするのはもったいないと思います。前回の意見にも出されていたと思いますが、いろんな施設があるところへ誘導して、そちらでそういう体験、あるいは食を楽しんでもらうというのが良いと思います。

八雲町の方は、八雲町を見ていない人が多いなと思います。ミルクロードをずっと走ってみると分かりますが、ところどころにすごい景色の良いところがあるんです。ミルクロードから山側に道が入るところがありますが、そのようなところをちょっと上がっただけで、景色がガラッと変わるんですよね。このように見てくれの良いところがいっぱいあるので、そのようなところをむしろ開発の拠点にして、事例にイメージされたようなレストランを作ったほうが、よっぽど効果があると思います。

ハーベスターさんが良い景色のところ立地していますよね。あそこは牧場だったところなのですが、あそこへ行っている時だけ、心を休めていました。このような場所が結構いっぱいあるんです。

それから、富咲というところが残土捨て場になっていますが、高原にすごく平らな広い土地があります。そこも360度を見渡せるような、すごく良いところなんです。残土捨て場になっているのがすごく残念ですが、八雲町にはすごく景色の良いところがいっぱいあるんです。そういうところこそレストランを作って、観光拠点にされたら良いと思います。できるだけ駅の周りは、あまり人工物を作らないほうが良いと思います。

僕の提案としては、旭川市に北邦野草園という施設があるのですが、八雲町の草花や木を見られるような、ちょっとした公園にしてはどうかと思います。近くに音名川がありますから鮭がのぼられるようにして、そことつなげていけば、一つの自然体験としても良い公園になるのではないかと思います。

(会長)

委員としては余計なものを作らないほうが良いという意見で、仮に今回提案された

	<p>ゾーニングで作っていくとき、八雲町の素晴らしい景色を紹介する、あるいは誘導する機能を施設に作ってはどうか、という意見と捉えてよろしいですか。</p> <p>(委員)</p> <p>そのような施設は駅舎に作り、とにかく、見えるところに施設は無い方が良いと思います。冬になると、オオハクチョウが羽を休めるところなのです。それと駅舎の裏側に、オオワシのねぐらがあり、夕方になると帰ってきます。音名川に鮭が上るようになれば、ワシが寄りつくようになる。そういった意味では、人工物があればマイナスになるのではないかと思います。</p> <p>(会長)</p> <p>そのようなご意見ということですね。その他、ご意見はございますか。</p> <p>今、3人の方からご意見がありまして、お二人の方からは好意的な意見で、若者の意見を取り入れて、資料で提示された形にしてよろしいのではないかというご意見が出されています。また、お一人の方からは、あまり工作物は必要ではないのではないかと、というご意見がありました。</p> <p>特にご意見がなければ、今回3人の方からご意見がありましたので、これらの意見を参考にしながら新八雲（仮称）駅周辺整備計画を取りまとめていただくという形で、この議題の意見交換を終えたいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>(一同)</p> <p>はい。</p> <p>(会長)</p> <p>では、そのようにいたします。</p>
閉会	<p>(会長)</p> <p>予定していた議題は全て終わりましたが、委員の皆さんから本日の会議に関することで何かご意見があれば、お伺いいたします。</p> <p>オブザーバー、関係機関の方々から何か発言等がありましたらお伺いしたいと思います。よろしいですか。</p> <p>最後に、事務局から連絡事項等をお願いいたします。</p> <p>(事務局)</p> <p>本日は大変長い間、真剣にご議論いただきありがとうございました。</p> <p>会議の冒頭で、副町長よりございましたけれども、新幹線の開業が延期となっても、整備計画につきましては、今年度策定することとしておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。</p> <p>次回の推進会議につきまして、今のところ、まだ予定してございませんけれども、必要に応じて開催したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>(会長)</p> <p>あとは特に無いようでありますので、これを持ちまして、本日の推進会議を閉会といたします。お忙しい中、お集まりいただきどうもありがとうございました。</p>